



地域医療連携室だより  **For you**   
ほ う ゆ う

令和5年7月発行（第42号）

夏号

## 1. 面会制限緩和についてお知らせ

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、6月1日より面会制限を緩和しております。皆様のご協力のもと、予約制にて面会を開始しております。

患者様1名につき1週間に1回、2名までとなっております。予約の混雑が予想されますので、面会の機会の公平性を保つ観点から、次の面会まで1か月程度お待ちいただく場合がございます。どうぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

西病棟：火曜日・木曜日     東病棟：月曜日・水曜日

(入院された病棟によって、曜日が固定されておりますが、不都合のある場合はご相談ください。)

## 2. 入院・外来受診のご案内

暑い夏になりました。脱水等が起こりやすくなります、どうぞお気を付けてお過ごしください。

当院の受診のご希望がある方は、以下の情報をご参考されて下さい。

### 【入院治療】

—入院の対象となる方—

- ・認知症の周辺症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
- ・上記の症状から施設やご自宅での生活にお困りの方
- ・ご家族の介護疲れ軽減の為に短期（2週間～1ヶ月程度）の入院を希望の方 等

かかりつけ医がいる場合は紹介状のご用意をお願いしております。

事前にお話を伺い、病状を確認の上、入院予約をお取りします。

—入院費用—

○医療費1割負担の方…18～20万円前後/月

○医療費3割負担の方…25～26万円前後/月

(お持ちの限度額認定証等により入院費用には個人差がございます。  
詳しくは直接お問い合わせ下さい。)

### 【鑑別診断・通院治療】

問診、画像検査、認知機能検査等を行います。

専門医がご本人を診察し、鑑別診断の結果についてご説明し、今後の治療方針を考えていきます。

<※MRI検査等、詳しい検査が必要な場合には、協力医療機関に検査の依頼をしております。>

一人ひとり丁寧に向き合うために、診察には十分な時間がかかります。診察は【予約制】となっておりますので事前にお電話にてご連絡下さい。

### 【看護相談外来】

認知症専門の看護師が療養生活上の相談に応じます。

<例>

- ・認知症と診断された後に必要なこと。
- ・認知症の症状への対応
- ・日常生活を整えるケア
- ・介護について
- ・介護サービスの活用 等

外 来 日：平日のみ

9：45～12：30

相談時間：1回30分程度

費 用：無料

### 【お問い合わせ先】

地域医療連携室

担当：新井・菊井

TEL045-360-8787

(代表番号になります。)

初めての相談とお伝え下さい。)

### 3. 令和5年度 もの忘れ検診実施

#### 横浜市もの忘れ検診の流れ



##### ステップ1

検診の対象に該当するか確認します。

【対象】50歳以上の市民で、認知症の診断を受けていない方

##### 検診の対象を確認

- ◆50～64歳の方：仕事や生活上で、もの忘れや認知機能の低下、以前のようにできないなどを感じた場合に受診してください。
- ◆65歳以上の方：検診を年に1回受けることをおすすめします。

##### ステップ2 医療機関を選ぶ

もの忘れ検診の実施医療機関の一覧は、中面をご覧ください。  
検診の結果、専門医療機関において各種検査が必要になる可能性があります。

##### ステップ3 医療機関へ電話(予約)をする

選んだ医療機関に直接電話で予約します。  
※医療機関によって、曜日や時間帯を限定して実施していることがあります。

予約した医療機関・日時

##### ステップ4 医療機関へ受診する

問診を行い認知症の疑いを確認します。鑑別診断ではありません。  
※もの忘れ検診で収集した情報は、横浜市と医療機関で共有します。

持ち物：本人確認ができるもの

(例)・各種医療保険証 ・生活保護受給証明書

・中国残留邦人等支援給付「本人確認証」など

認知症の疑いがあった場合、専門医療機関を紹介します。紹介料は有料です。

#### ご存じですか？

横浜市のもの忘れ検診の実施対象年齢が引き下がりました！！

「若年性認知症」の早期発見・早期対応し、必要な社会資源につなげるため、令和5年度から、50歳～64歳を対象とした健診が実施となります。50歳～64歳の1次検診実施医療機関は、専門医の在籍する医療機関及び精神科、(脳)神経内科、脳神経外科を標榜する医療機関となります。精密検査が必要な場合、2次検診実施医療機関は原則として認知症疾患医療センターとなります。

当院横浜ほうゆう病院は、上記の条件に当てはまるため1次検

診・2次検診どちらも対応させていただきます

ます。遠慮なくご相談ください。横浜市ホームページ

### 4. "MAI-O CAFE" (まいおかふえ) のお知らせ

MAI-O CAFE (横浜市認知症疾患医療連携協議会認知症カフェ部会の企画・実施) が始まりました。若年性認知症の患者さんやご家族が抱える悩みをみんなでお茶を飲みながら語り合う場です。“交流広場とつか” において行っております。今回は、9月頃の予定です。詳細が分かりましたら、お知らせいたします。(地域医療連携室、村山まで お声がけいただけますようお願い申し上げます)



#### 面会に立ち会った相談員からのほっこりメッセージ・・・

長らく面会制限をしていた当院ですが、6月からやっと対面面会可能となり、多くのご家族が足を運んでくださっています。先日、入院からずっと会われていないご夫婦が面会されました。この3年で痩せて姿が変わってしまっていた奥様に対し、初めは自分の妻が悩んでいましたが…名前を呼んだ瞬間、目がカッと見開き、目を合わせ。「わかるか？俺だぞ」の言葉に口角上げて、しっかり頷く患者さん。最近あまり反応が少なかった患者様でしたが、やはりご家族の声や姿を「見て触れる」ことの大切さを実感した、場面でした。しばらく会ってないから分からないだろう…と消極的にならず、ぜひ一度は皆様足を運んでいただきたいと思います。

(東1病棟精神保健福祉士 川村)

\*次号、秋号は10月頃の発行を予定しています。本たよりについてのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団 朋友会  
横浜ほうゆう病院

認知症疾患医療センター

地域医療連携室 担当：新井・菊井

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1

TEL:045-360-8787(代)

FAX:045-360-8788

ホームページ : <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>



